

平成23年7月29日

記者発表資料

平成22年度大気環境、水域環境の状況等

神奈川県では、国及び政令市と連携し、大気環境及び水域環境の調査と、ダイオキシン類などの化学物質調査を行っています。

このたび、平成22年度の測定結果をとりまとめましたので、その概要をお知らせします。

県では、この結果を踏まえ、環境基準の達成・維持に向け、関係法令に基づき、工場・事業場に対する規制、指導や自動車の排出ガス対策、生活排水対策などを総合的に推進してまいります。

1 大気環境の状況(別紙1)

大気汚染物質についての常時監視測定結果

- ・ 二酸化窒素の環境基準達成率は96.7%(92局中89局)となり、平成21年度(95.7%)より達成率が上昇した。
- ・ 浮遊粒子状物質の環境基準達成率は98.9%(92局中91局)となり、平成21年度(100%)より達成率が低下した。
- ・ 光化学オキシダントは、全測定局で環境基準を達成していなかった。

有害大気汚染物質モニタリング調査の結果

- ・ 環境基準が設定されているベンゼン等4物質について、全地点で環境基準を達成した。
- ・ 指針値が設定されているアクリロニトリル等8物質について、全地点で指針値を満足した。

別紙1 [平成22年度大気環境の状況について\(別紙1\)\[PDFファイル/218KB\]](#)

2 水域環境の状況(別紙2)

川や湖、海などの公共用水域の測定結果

- ・ カドミウムなどの健康項目では、昨年に引き続き1地点において砒素が火山地帯の自然的要因により環境基準を達成していなかったが、その他の地点ではすべての項目が環境基準を達成していた。
- ・ BOD又はCODの環境基準の達成率は86.8%(53水域中46水域)となり、平成21年度の90.6%(53水域中48水域)に比べ低下した。

地下水の測定結果

- ・ カドミウムなどの環境基準項目の環境基準の達成率は95.2%(105地点中100地点)であった。

別紙2 [平成22年度水域環境の状況について\(別紙2\)\[PDFファイル/250KB\]](#)

3 化学物質調査の結果(別紙3)

ダイオキシン類環境調査

- ・ 県域(横浜市、川崎市、相模原市及び横須賀市を除く区域)において、大気(15地点)、公共用水域(29地点:水質及び底質)、土壌(6地点)及び地下水(6地点)合計56地点で調査を行った結果、全地点で環境基準を達成していた。

化学物質環境モニタリング調査

- ・ 大気調査はトルエンなど12物質について、県内において、排出量が多い市町を中心とした8地点で調査を行った結果、全地点で評価基準値(大気環境基準値等)を下回っていた。
- ・ 水域調査はキシレンなど14物質を選定し、県内の11河川で水質調査、4河川で底質調査、1河川で水生生物調査を行った結果、評価基準値(水道水質基準値等)のある物質については、いずれも評価基準値を下回っていた。

別紙3 [平成22年度化学物質調査結果について\(別紙3\) \[PDFファイル/242KB\]](#)

(問い合わせ先)
神奈川県環境農政局環境保全部大気水質課
課長 塩谷
電話 045-210-4120
大気環境グループ 堀田
電話 045-210-4111
水環境グループ 矢板
電話 045-210-4123

□参考資料

参考資料について、以下に掲載いたしました。詳細はこちらをご覧ください。

資料1 [平成22年度大気環境の状況について \[PDFファイル/490KB\]](#)

資料2 [平成22年度水域環境の状況について \[PDFファイル/1,638KB\]](#)

資料3 [平成22年度化学物質調査結果について \[PDFファイル/1,400KB\]](#)



Pdf形式のファイルをご覧いただく場合には、Adobe社が提供するAdobe Readerが必要です。Adobe Readerをお持ちでない方は、バナーのリンク先からダウンロードしてください。(無料)